「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称	高齢者日常生活支援事業費 [高齢者安心見守り・食事サービス事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号 4	
事業の種別	☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)							
	☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☒ 廃止したもの							
担当部署・課長名	地域包括ケア推進(高齢介護) 課			高齢者支援	係	課長名	石嶋 洋平	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	2 - 2		
【施策名】 高齢者保健福祉の推進					総合計画書(ページ)	51		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	買い物や食事が困難な高齢者 →			配食を希望する人数 (新規申請数)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
安心して在宅生活を送れるようにする。 →			配食を受けている人数 (配食利用者数)					
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
市民から利用希望があった場合、担当区域の高齢者 ほっと支援センターが自宅訪問し、調査。同センター による申請代行を受けて、市が利用決定する。決定 後、配食事業者に配食を依頼し、利用者から追加、 キャンセル、休止等の希望があった場合、業者に連絡 する。 →			延べ配食数(年末年始を除く毎日)					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	人	11	14	34		
	成果指標	②の数値	人	67	44	42		
	目 標	②の目標値	件	67	44	42		
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 在宅高齢者の日常生活を支援し、介護者の負担軽減を図るため、前年度実績を目標に設定した。							
活動指標	③の数値	件	7,364	6,497	6,534			
3 経費	事業費(実績)		円	1,502,470	1,303,552	1,254,160	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	751,235	652,552	627,160		
		特定財源	円	751,235	651,000	627,000		
		(うち受益者負担)	円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.30	0.3	0.3		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	2,493,000	2,514,000	2,475,000		
職員人件費(再任用)	円	0	0	0				
事業費+人件費		円	3,995,470	3,817,552	3,729,160			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く							
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く							